

# 勧告法総集編 2012年版

一般社団法人日本臨床化学会 編

日本臨床化学会の出版事業第一弾として、現時点におけるわが国の勧告法等の集大成となる書籍を発行いたしました。

学会誌「臨床化学」に掲載した全58編の中から、勧告文書として活用できる48編を収録し、そのうち19編には「修正および追加コメント」を加えました。また、巻末には参考資料として基準測定操作法および実試料標準物質のリストを掲載しております。

臨床化学関連の研究のバイブルとして、また標準化実施のためのツールとしてご活用いただける一冊です。



● B5 本文642頁 限定700冊

通常価格 7,000円 (税込・送料込)

会員価格 5,000円

(税込・送料込、ただし企業ならびに公費での購入の場合には通常価格)

複数購入価格 6,000円

(税込・送料込、企業で10冊以上購入の場合)

# 『勧告法総集編 2012年版』 掲載内容一覧

## 1) 酵素項目

- ・ヒト血清中酵素活性測定 of 勧告法総論
- ・ヒト血清中酵素活性測定 of 勧告法 – アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ –  
【修正および追加コメント AST 勧告法】
- ・ヒト血清中酵素活性測定 of 勧告法 – アラニンアミノトランスフェラーゼ –  
【修正および追加コメント ALT 勧告法】
- ・ヒト血清中酵素活性測定 of 勧告法 – クレアチンキナーゼ – 【修正および追加コメント CK 勧告法】
- ・ヒト血清中酵素活性測定 of 勧告法 – アルカリホスファターゼ – 【修正および追加コメント ALP 勧告法】
- ・ヒト血清中酵素活性測定 of 勧告法 – 乳酸デヒドロゲナーゼ – 【修正および追加コメント LD 勧告法】
- ・ヒト血清中酵素活性測定 of 常用基準法 – 乳酸デヒドロゲナーゼ – 【修正および追加コメント LD 常用基準法】
- ・血清中の酵素活性測定標準化の推進に関する指針  
指針Ⅰ 日本臨床化学会常用基準法 (JSCC 常用基準法)  
指針Ⅱ 日本臨床化学会勧告法 (JSCC 勧告法) 準拠試薬  
指針Ⅲ 酵素項目の外部精度管理
- ・ヒト血清中酵素活性測定 of 勧告法  $\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ  
【修正および追加コメント  $\gamma$  GT 勧告法】
- ・常用酵素標準物質の規格 【修正および追加コメント 常用酵素標準物質】
- ・臨床化学検査領域における酵素の名称および略号
- ・ヒト血清中酵素活性測定 of 勧告法 – コリンエステラーゼ – 【修正および追加コメント ChE 勧告法】
- ・酵素標準物質の作製・管理・運用に関する細則  
– 酵素標準物質の管理及び運用に関する指針の作成プロジェクト –
- ・ヒト血清中酵素活性測定 of 勧告法 –  $\alpha$ -アミラーゼ – 【修正および追加コメント AMY 勧告法】
- ・ヒト血清中の腓リパーゼ活性測定 of 常用基準法候補法

## 2) 糖・糖関連項目

- ・血清グルコース測定勧告法 【修正および追加コメント GLU 勧告法】
- ・SMBG 測定機器校正法 (Ver. 1.8)
- ・HbA1c 測定のためのレファレンスラボラトリー設定指針 (Ver. 1.8)
- ・ADA, EASD, IFCC, IDF によるヘモグロビン A1c 測定 of 国際標準化に関するコンセンサス・ステートメント  
に対する糖尿病関連指標専門委員会の見解
- ・HbA1c 測定 of 信頼性確保のための指針 (Ver. 1.4)
- ・グリコアルブミン測定 of JSCC 勧告法 (Ver. 1)
- ・HbA1c 測定 of ためのレファレンスラボラトリーおよび糖尿病関連指標標準化維持管理システム of ための運用指  
針 (Ver. 2.0)
- ・HbA1c 測定 of ための JSCC/JDS 基準操作手順書 (Ver. 2.8)
- ・ヘモグロビン A1c 測定 of における新規 HbA1c 値 of 日常検査での取扱 (Ver. 2.0)  
【修正および追加コメント HbA1c】

## 3) 血液ガス・電解質項目

- ・イオン電極法による血液中ナトリウム, カリウム, 塩素濃度測定 of 勧告法 – 標準血清による正確さ of 校正方法 –
- ・イオン電極法による血液中イオン化カルシウム濃度測定 of 勧告法 – 測定システムと標準血清による校正方法 –
- ・血液ガス測定用常用標準物質 – 作製手順と正確さ of 確認および校正 – 【修正および追加コメント 血液ガス】
- ・総カルシウムおよび総マグネシウム測定 of ための実用標準物質 of 設定方法 – プロトタイプ of 作製手順と正確さ of 確認および校正 – (Ver. 1.4)

#### 4) 蛋白・含窒素項目

- ・ HPLC 法を用いる血清尿酸測定の方法 【修正および追加コメント 尿酸報告法】
- ・ HPLC 法を用いる血清クレアチニンの測定方法 【修正および追加コメント クレアチニン報告法】
- ・ ERM-DA471/IFCC から各日常検査法測定システムのキャリブレーションへの値付け

#### 5) 脂質項目

- ・ 血清中の中性脂肪濃度測定の方法 【修正および追加コメント 中性脂肪報告法】
- ・ ヒト血清コレステロール測定の方法 - 実試料の測定値を評価するための比較対照法 -
- ・ 血清中の総コレステロール濃度測定の方法
- ・ 血清中 HDL-コレステロールおよび LDL-コレステロール測定の方法  
- 実試料の測定値を評価するための二次基準測定法 -

#### 6) ビタミン類

- ・ 血清 25 ヒドロキシビタミン D 測定の方法に関する日本臨床化学会栄養専門委員会の見解  
【修正および追加コメント ビタミン D】
- ・ 自動分析法による血清ビタミン B<sub>12</sub> 測定値の方法に関する日本臨床化学会栄養専門委員会の見解：SRM1955  
を参照物質に用いた測定 【修正および追加コメント ビタミン B<sub>12</sub>】

#### 7) 血液凝固項目

- ・ DIC 診断基準の評価ならびに検査項目のカットオフ値の検討

#### 8) 機器関係

- ・ pH 指示薬を用いたセル内温度モニタリング法

#### 9) 基準範囲・品質保証関係

- ・ 福岡県における臨床化学 28 項目の基準範囲と標準化  
- 「臨床化学検査及び基準範囲の統一化プロジェクト」プロジェクト報告 -
- ・ 標準物質の作製・管理・運用に関する指針 - 標準物質の作製・管理・運用に関する指針作成プロジェクト -
- ・ 定量分析用常用組成標準物質の規格
- ・ キャリブレーションおよび QA 用試料の不確かさ評価方法 (Ver. 1.4)
- ・ 生理的変動に基づいた臨床化学検査 36 項目における測定の許容誤差限界
- ・ 定量分析法における検出限界および定量限界の評価法
- ・ 定量測定法に関するバリデーション指針

#### 10) 採血法, SI 単位

- ・ 小児採血法に関する指針 - 皮膚穿刺による採血法 -
- ・ SI 単位換算表の掲載にあたって 【修正および追加コメント SI 単位換算表】

#### 参考資料

表 1 日本臨床化学会による報告法等の発行リスト

表 2 国際標準化に用いられている基準測定操作法 (reference measurement procedure ; RMP) のリスト

表 3 標準物質設定機関で設定・頒布されている臨床検査用実試料系標準物質リスト

# 『勸告法総集編 2012年版』 購入申込書

下記に必要事項をご記入のうえ、日本臨床化学会事務局までEメールまたはFAXにてお申し込み下さい。

勸告法総集編 2012年版		購入部数	部
ふりがな			
ご購入者名			
ご所属先 部署名			
送付先 ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
送付先	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅	会員	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員
必要書類	<input type="checkbox"/> 請求書 <input type="checkbox"/> 納品書 <input type="checkbox"/> 領収書 <input type="checkbox"/> 見積書 <small>※ご希望の項目にチェックを入れてください。</small>		
備考			



一般社団法人  
**日本臨床化学会**

【問い合わせ先】 一般社団法人日本臨床化学会  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-8-10-605  
TEL: 03-3354-2006 FAX: 03-3354-2017  
E-Mail: jsc@mc-i.co.jp <http://www.jsc-jp.gr.jp>